

大溝で区画された前期の弥生集落

ひゃっけんがわさわだ

百間川沢田遺跡

岡山市中区沢田

百間川は、江戸時代に岡山城下を洪水から守るために造られた人工の川で、いく度となく岡山のまちを洪水から守ってきました。この百間川の河川敷内には、百間川原尾島遺跡、百間川沢田遺跡、百間川兼基・今谷遺跡、百間川米田遺跡などの遺跡があり、30年以上の間、発掘調査を続けてきています。なかでも百間川沢田遺跡は、歴史が最も古く、縄文時代後期の土器や石器が数多く出土しているほか、縄文時代晩期の農具と考えられる石器が見つかるなど注目されている遺跡です。

今年度の発掘調査でも、百間川沢田遺跡からは、弥生時代から古墳時代の集落・水田などが見つかり、多くの遺物も出土しています。



大溝で区画した弥生集落（北東から）



墓と思われる土坑（西から）



木葉文が描かれた土器

前ページの写真は、弥生時代前期集落の様子です。中央に見えるのは大溝で、集落と低位部の境に掘られています。集落内では、貯蔵穴と考えられる半地下式の大型土坑や、墓と思われる土坑などが見つかっています。墓と考えられる土坑は、長辺が4 mほどの長方形になります。先端がテラス状になっており、土器が集中して出土しました。すぐ隣の調査区では、竪穴住居も見つかっており、居住域・墓域・収蔵施設が同時期に存在していたこととなります。これらの調査成果は、弥生時代前期の弥生人が、集落内の空間をどう利用したかを考える手がかりとなるでしょう。

めずらしい遺物では、木葉文が描かれた土器があります。木葉文は、4枚の葉が1単位となることが多いのが特徴ですが、写真に示した土器の文様は、3枚が1単位で描かれます。文様が描かれた位置も壺の頸部であり、通常のものとは少し違い、注目されます。

古墳時代の初めには、7軒の竪穴住居と5基の井戸などが見つかりました。これらは、弥生時代の終わり頃の洪水による土砂の上に作られており、自然災害の後、あまり時間を開けずに、同じ場所に集落が作られたと推定されます。出土した土器は、水田を覆った洪水砂上でも見つかり、水田が埋まった時期の解明に役立つと考えられます。

(小林利晴)



古墳時代はじめの集落（北から）



集落の縁辺から出土した土器（南西から）

美作岡山道路の建設に伴って昨年9月から発掘調査を実施しており、これまでに弥生時代から室町時代にわたる遺構・遺物を確認しています。

丘陵裾部では、造成した平地に建物を建てた跡が見つかり、室町時代の集落の広がりが確認できました。

また集落の西に接する谷筋では、400基にもものぼる粘土採掘坑を検出しています。採掘坑の中からは勝間田焼や瓦質土器が出土しましたが、瓦質土器には使用した痕跡が見られず、また焼け損じや窯道具が見られることから、この周辺で生産が行われたものと思われま

す。粘土採掘が行われていた鎌倉時代、この地域には和歌山県熊野那智大社の荘園（勝田荘）が開かれており、近年まで見られた条里地割はその名残りと思われま

みやばら
宮原遺跡・奈良井古墳

宮原遺跡、奈良井古墳は里見川の支流、佐方川流域にある遺跡です。

宮原遺跡では縄文時代の流路が見つかってい

ます。この流路から約4000年前の縄文時代後期の土器や石鏃、石器をつくる素材として使われたサヌカイトという石材が出土しており、当時の人々がこの周辺で狩猟採集をしながら生活していたことがうかがえます。

奈良井古墳は丘陵上にある、直径およそ10mの円墳です。埋葬施設は横穴式石室であり、東向きに開口しています。古墳が使用されていたよりも後の時代に、石室の一部が破壊されており、天井石も崩落していました。石室の残っている部分の長さは約3.5m、最大幅は1.5m、床から天井までの高さは1.7mです。

石室内にわずかに残された須恵器の特徴から7世紀初め頃の築造であると推定されます。古墳が築かれた丘陵のふもとにひろがる小平野を治めた有力者の墓と考えられます。



丘陵裾部に建つ室町時代の建物跡（北から）



密集する鎌倉時代の粘土採掘坑群（南西から）



縄文時代の流路〈宮原遺跡〉（北から）



横穴式石室の調査〈奈良井古墳〉（東から）

御舟入は、岡山藩主が城と後楽園（江戸時代には「御後園」や「御茶屋」と呼ばれていました）を船で行き来するときに利用した船着き場で、後楽園の南縁に位置しています。御舟入の様子は、『御茶屋御絵図』（享保元（1716）年）などの絵図に描かれており、それによって石積み護岸や船着き場の階段状構造物である雁木（がんぎ）が設けられていたことが分かります。今回の調査は、雁木などの保存状態を調べて、今後の整備に活かすことを目的として実施しました。

調査の結果、地表下1.5～3.0mで切石などを使用した石段が見つかりました。石段は7段確認でき、一段の奥行は約50cmに揃えられていることが分かりました。確認できた石段の長さは3.5mですが、調査範囲外まで延びることは確実です。この石段は位置や構造から雁木の一部に相当すると考えられます。また、雁木の対岸にある石積み護岸の探索も試みましたが、今回の調査では確かめられませんでした。ただ、雁木の保存状況が非常に良好だったことから、今回確認できなかった石積み護岸の保存状態も良好である可能性が考えられます。

6月19日には現地説明会を開催し、510名の方が参加しました。連日の雨で足が悪くなっていたところ、参加してくださった方に厚くお礼申し上げます。

（上村 武）



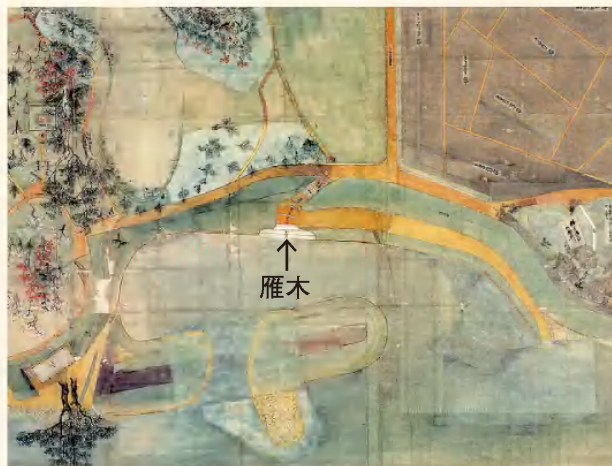
見つかった雁木（南西から）



石材を分割した時の矢穴跡（西から）



現地説明会の様子



『御茶屋御絵図』に描かれた御舟入
（後楽園事務所所蔵）

夏休み少年少女鬼ノ城教室

7月23日、好天に恵まれ、夏休み少年少女鬼ノ城教室を行いました。当日は小学校5・6年生6名とその保護者5名が参加しました。

まず鬼城山ビジターセンターで開講式を行い、その後出土した須恵器などを実際に見学して鬼ノ城の概要について学んだ後に城内へ移動。西門や角楼、北門など各施設の説明を聞き、いよいよ調査現場へ。現場ではケズリや竹ベラを用いた発掘の体験を行いました。子どもたちは千年の時を超えて姿を現した土器に感動したようで、体験に夢中になっていました。興奮がさめやらぬ中、北門で写真撮影や機材を使った簡単な測量も体験しました。最後に北門を背景に記念撮影をし、無事終了しました。

6年前の発掘開始から恒例行事となった「夏休み少年少女鬼ノ城教室」も今年が最後の開催となりました。この行事を通して、鬼ノ城や私たちの仕事への理解が深まったものと思います。

(河合 忍)



発掘体験の様子



写真体験・測量体験の様子

大地からの便り 2011

県内の発掘調査報告会を8月20日(土)に県立博物館で開催しました。当日は150名の方が参加し、熱心に各遺跡の報告を聴きました。

また、報告展として7月23日(土)から8月29日(月)までの期間、報告遺跡から出土した遺物の展示を県立博物館で行いました。



報告展の様子



報告会の様子

<報告・展示の遺跡>

- | | |
|----------------|--------------|
| ①百間川原尾島遺跡(岡山市) | 県古代吉備文化財センター |
| ②鬼ノ城(総社市) | 県古代吉備文化財センター |
| ③美作国府跡(津山市) | 県古代吉備文化財センター |
| ④及遺跡(勝央町) | 県古代吉備文化財センター |
| ⑤南方遺跡(岡山市) | 県古代吉備文化財センター |

展示室から 一平成 23 年度の企画展示一



企画展 2 の様子



美作国府跡出土檜扇

センターの展示室では、今年度 3 回の企画展を開催する予定です。企画展 1・2 では「最近刊行された発掘調査報告書から」と題し、前・後編に分け計 13 遺跡の出土品等を紹介しています。現在はその後編「美作国府跡」の展示を行っています。企画展 3 では「こうもり塚古墳とその周辺（仮題）」を計画しています。ぜひ、お越し下さい。

	遺 跡 名	展 示 品	期 間
企画展 1	二本木遺跡・小塚の谷古墳・宇屋遺跡・宇屋古墳・田尻遺跡・山津田遺跡・田益田中遺跡・高岡遺跡・金山屋敷遺跡・八紘古墳群	縄文土器・特殊器台片・須恵器・土師器・製塩土器・石包丁・鉄滓	平成 23 年 4 月 26 日 (火) ? 8 月 28 日 (日)
企画展 2	美作国府跡・小田中遺跡・山北遺跡	檜扇・方頭大刀の柄頭・円面硯ほか	平成 23 年 8 月 31 日 (水) ? 12 月 25 日 (日)
企画展 3	こうもり塚古墳	須恵器など (吉備路郷土館関連遺物)	平成 24 年 1 月 5 日 (木) ? 4 月 22 日 (日)

最近刊行された報告書 (平成 23 年 3 月発行分)

『岡山県埋蔵文化財発掘調査報告』 228 『美作国府跡・小田中遺跡・山北遺跡』 (津山市)

美作国府跡では、奈良時代の国府に関連する遺構・遺物、弥生時代・平安時代の集落を確認。小田中遺跡では、古墳時代の竪穴住居、白鳳～奈良時代の溝、山北遺跡では、弥生時代・奈良時代の溝をそれぞれ確認。

『岡山県埋蔵文化財発掘調査報告』 229 『二本木遺跡・小塚の谷古墳・宇屋遺跡・宇屋古墳・田尻遺跡』 (和気町)

二本木遺跡では、丘陵尾根上で弥生時代の集落を確認。小塚の谷古墳は古墳時代後期の横穴式石室をもつ古墳で、鉄滓が出土。宇屋遺跡では、丘陵尾根上で弥生時代の集落・古墳時代の墓域を確認。宇屋古墳は古墳時代前期の古墳で、粘土床をもつ墓壙と箱式石棺を確認。

『岡山県埋蔵文化財発掘調査報告』 230 『山津田遺跡』 (総社市)

作山古墳を西に望む、丘陵上に形成された弥生時代から古墳時代にかけての集落を確認。

『岡山県埋蔵文化財発掘調査報告』 231 『田益田中遺跡 2』 (岡山市)

縄文時代の河道、弥生時代の溝、中世の建物のほか、条里制地割りに沿う中世から近世の水田跡を確認。

『岡山県埋蔵文化財発掘調査報告』 232 『高岡遺跡 2・金山屋敷遺跡』 (美作市・西粟倉村)

高岡遺跡では、丘陵尾根上に形成された弥生時代の集落を確認。金山屋敷遺跡では、江戸時代の製鉄遺跡の排滓場を確認。

『岡山県埋蔵文化財発掘調査報告』 233 『八紘古墳群』 (総社市)

古墳時代後期の古墳 5 基を調査。そのうち、4 基からは横穴式石室と副葬品を確認。



センター収蔵品紹介 vol.10 —足守川下流域出土の弥生時代青銅器—

中国大陸や朝鮮半島文化の影響のもとに誕生した弥生文化は、本格的な水田稲作や弥生土器、磨製石器、織物技術などと共に金属器（鉄器と青銅器）の製作・使用が大きな特徴と考えられています。鉄器が実用的な利器や武器であったのに対し、祭器として用いられる場合が多かったとされる弥生時代の青銅器の一部について紹介します。

写真1・2・3は足守川加茂B遺跡出土の鏡と鏃（矢じり）です。文様などの特徴から2は国産品ですが、1は朝鮮半島で製作された鏡と考えられています。4は足守川矢部南向遺跡出土の銅鐸を模倣した国産の銅製品で祭りに用いたのかもしれませんが。5・6は加茂政所遺跡出土の釧です。5の特徴的な形状は南海産のゴホウラ貝を模したと考えられており、いずれも司祭者が身につけていた腕輪ではないかと推測されています。

ところで、紹介した足守川下流域の遺跡群からは、これら以外にも高塚遺跡出土の全国的にも大変貴重な銅鐸と貨泉、棒状銅製品をはじめ多くの青銅器が発見されています。

この地域は岡山県下でも弥生時代の遺跡が最も集中する地域の一つですが、当時はすぐ南側には「吉備の穴海」が広がっており、この「吉備の穴海」は、畿内や北部九州は勿論のこと朝鮮半島や中国大陸にまで続く物資や文化の交流に大きな役割を果たした自然の良港（津）であったといえます。中国で製作・使用されていた貨泉や朝鮮半島産の鏡はこうした海上交通を利用してもたらされたと考えてよいのではないのでしょうか。港の一部と考えられる突堤が発掘された上東遺跡もそうした交流を担った遺跡であり、7の貨泉も出土しています。また、8の足守川加茂A遺跡出土の大型船を描いた線刻土器もそうした意味で大変興味深い資料です。

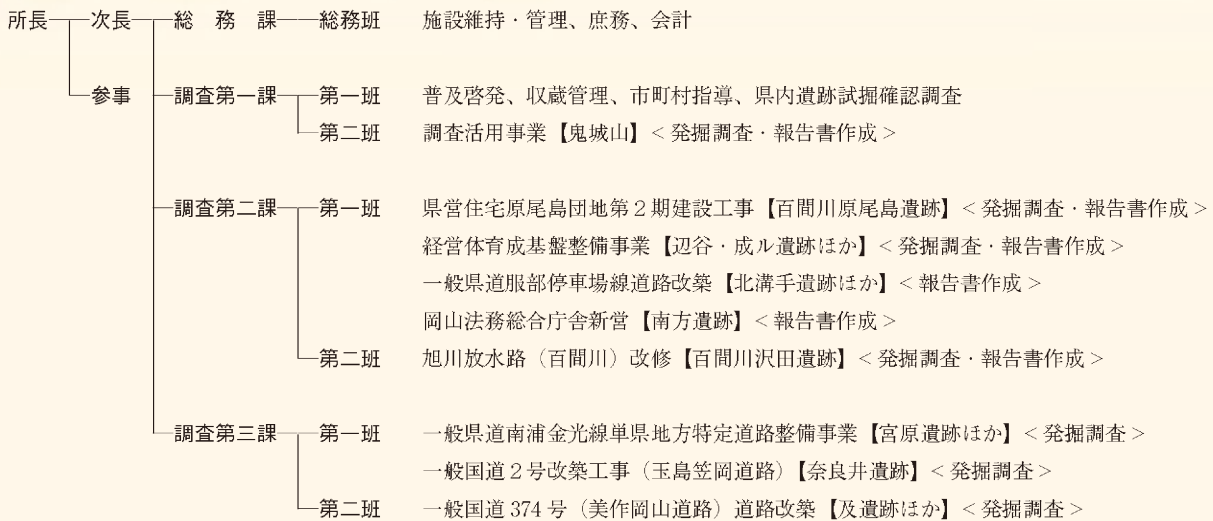
さらに、青銅器製作の原料とも指摘されている高塚遺跡出土の棒状銅製品や貨泉に加えて、3の鏃には鋳型から余分にはみ出した「鋳バリ」が残っており、研ぎ出す作業を施していない未製品の可能性が高く、この地で何らかの青銅器が製作されていたと想像することも可能です。

すでに北部九州では矛・剣・戈・鏡・釧・銅鐸など、畿内では銅鐸・戈・釧などの鋳型の出土が多く知られており、県内では田益田中遺跡（岡山市）から銅劍の鋳型と考えても良い石製品が出土しているのみですが、この地域での鋳型などの青銅器製作関連遺物や遺構の発見に期待しています。

（平井泰男）



平成 23 年度の組織と業務



<職員>

所長	平井 泰男
次長	片山 淳司
(総務課長事務取扱)	
参事	中野 雅美
総務課	
総務班	
総括副参事(班長)	上田 利弘
主任	植木寿美子
主任	行守 智和
主事	堤 弘至
主事	岡村 涼平
主事	武井 淳子
主事	尾川 華子
臨時職員	和田由香利
調査第一課	
課長	江見 正己

第一班	
総括主幹(班長)	柴田 英樹
主任	物部 茂樹
主任	上楯 武
主任	石田 爲成
(文化財課本務)	
臨時職員	内藤 博
第二班	
総括主任(班長)	金田 善敬
主任	河合 忍
主事	三輪 宜生
調査第二課	
課長	弘田 和司
第一班	
総括主幹(班長)	渡邊恵里子
主幹	氏平 昭則
主任	杉山 一雄

第二班	
総括主任(班長)	小林 利晴
副参事	内藤 善史
主任	團 奈歩
調査第三課	
課長	大橋 雅也
第一班	
総括主幹(班長)	澤山 孝之
主任	岡本 泰典
主事	中原 香織
第二班	
総括副参事(班長)	亀山 行雄
主任	小嶋 善邦
主任	松尾 佳子
主事	矢部 俊一

メールマガジン「大地からの便り」読者募集中!



編集・発行 岡山県古代吉備文化財センター

所在地 〒701-0136 岡山市北区西花尻1325-3
 TEL (086) 293-3211 FAX (086) 293-0142
<http://www.pref.okayama.jp/kyoiku/kodai/kodaik.htm>

- 交通案内 ・JR山陽本線庭瀬駅下車徒歩40分
 ・JR吉備線吉備津駅下車徒歩25分
- 業務時間 AM8:30～PM5:15
- 休業日 土・日曜日及び祝日、年末・年始
- 展示室の開館 AM9:00～PM5:00
 年末・年始を除き、土・日・祝日も開館しています。
 ただし、臨時に休館することがあります。

なくしていこう、差別・偏見・いじめ

